

法律学科授業科目表

学則別表Ⅲ-Ⅰ 法律学科

部 門	科 目	単位数	行政法務コース			企業法務コース			法曹コース		
			必 修	選択必修	選 択	必 修	選択必修	選 択	必 修	選択必修	選 択
入 門	入門演習	2	2			2			2		
	憲法入門	2	2						2		
	民法入門	2				2			2		
	刑法入門	2									
	国際法入門	2		4			4			2	
	総合政策入門	2									
基 礎 法	社会科学概論	2									
	法思想史	2									
	法哲学	2									
	日本法制史	2									
	日本近代法史	2									
	西洋法制史 a	2									
	西洋法制史 b	2									
	比較法史	2									
外 国 法	英米法	2									
	ドイツ法	2									
	フランス法	2									
	アジア法 a	2									
	アジア法 b	2									
	EU法 a	2									
	EU法 b	2									
	外国書講読Ⅰ	2									
公 法	外国法講読Ⅱ	2									
	憲法・人権	2	2						2		
	憲法・統治	2									
	憲法・発展	2									
	行政法Ⅰ	2	2								
	行政法Ⅱ	2	2								
	行政法Ⅲ	2									
	比較公法	2									
	租税法 a	2									
	租税法 b	2									
	地方自治法 a	2									
	地方自治法 b	2									
民 事 法	教育法 a	2									
	教育法 b	2									
	民法Ⅰ	2									
	民法Ⅱ	2									
	民法Ⅲ	2									
	民法Ⅳ	2									
	民法Ⅴ	2									
	会社法Ⅰ	2				2				2	
	会社法Ⅱ	2				2					
	支払決済法	2									
	企業法総則・商行為	2									
	保険法	2									
	国際私法 a	2									
	国際私法 b	2									
刑 事 法	国際取引法	2									
	知的財産権法Ⅰ	2									
	知的財産権法Ⅱ	2									
	知的財産権法Ⅲ	2									
	刑法総論Ⅰ	2							2		
	刑法総論Ⅱ	2							2		
	刑法各論Ⅰ	2									
	刑法各論Ⅱ	2									
社 会 法	刑事政策 a	2									
	刑事政策 b	2									
	少年法 a	2									
	少年法 b	2									
	労働法 a	2									
	労働法 b	2									
	社会保障法 a	2									
	社会保障法 b	2									
	環境法 a	2									
	環境法 b	2									
	経済法	2									
	消費者法	2									

手続法	民事訴訟法 a		2																
	民事訴訟法 b		2																
	民事執行・保全法		2																
	倒産法		2																
	刑事訴訟法 a		2																
	刑事訴訟法 b		2																
国際関係	国際法Ⅰ		2																
	国際法Ⅱ		2																
	国際法Ⅲ		2																
	国際人道法		2																
	国際環境法 a		2																
	国際環境法 b		2																
	国際政治学基礎		2																
政治	政治学原論		2																
	日本政治論		2																
	日本政治史		2																
	地方自治論		2																
	政治思想史		2																
	西洋政治史 a		2																
	西洋政治史 b		2																
	比較政治 a		2																
	比較政治 b		2																
	行政学 a		2																
行政学 b		2																	
特講	法律学特講										2								
	法曹特講										2								
社会・経済	経済学入門										2								
	法社会学 a										2								
	法社会学 b										2								
	会計学 a										2								
	会計学 b										2								
歴史	日本史										2								
	東洋史										2								
	西洋史		2																
総合講座			2																
演習	基礎演習		2									4		4		4			
	演習Ⅰ a		2																
	演習Ⅰ b		2																
	演習Ⅱ a		2																
	演習Ⅱ b		2																
免許	社会科教育法Ⅰ		2																
	社会科教育法Ⅱ		2																
	社会・地理歴史科教育法Ⅰ		2																
	社会・地理歴史科教育法Ⅱ		2																
	社会・地理歴史科教育法Ⅲ		2																
	社会・公民科教育法Ⅰ		2																
	社会・公民科教育法Ⅱ		2																
小 計			14	4	70	12	4	72	18	4	66								
全学共通授業科目（別表Ⅳ）	全学総合科目群（別表Ⅳ-1）	全学総合講座部門		4	20		4	20		4	20								
		全学共通講義科目部門																	
		全学共通実践科目部門																	
		スポーツ・レクリエーション部門																	
	外国語科目群（別表Ⅳ-2）	英語部門		8*	8**	8*	8**	8*	8**										
		外国語部門（英語以外）																	
日本語部門***																			
合計			26	32	70	24	32	72	30	32	66								
			128			128			128										

備考

- (1) * 外国語科目群は、第一外国語としてEnglish、ドイツ語、フランス語のうちいずれか一か国語とする。
 ** Englishを第一外国語とする場合、第二外国語はドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語のうち、いずれか一か国語とする。ドイツ語、フランス語を第一外国語とする場合は、既修者にかぎる。また、その場合は、Englishを第二外国語とする。
 第一外国語は1学年に4単位、2学年に4単位、合計8単位を修得するものとする。
 第二外国語は1学年に4単位、2学年に4単位、合計8単位を修得するものとする。
 なお、第二外国語8単位については、別表Ⅲ－1の他の科目で振り替えることができる。
 *** 日本語部門は、外国人学生および帰国学生が、別に定める規程に基づき履修することができる。
- (2) 所定の単位数を超過して修得した選択必修の科目の単位は、選択科目の単位数に算入することができる。ただし、全学共通授業科目を除く。
- (3) 卒業に必要な選択科目のうち、16単位までは国際関係法学科および総合政策学科の科目の単位をもって代用できる。
- (4) 免許部門は教職課程履修者のみ履修することができる。
- (5) 免許部門は別表Ⅳ－1の付記にかかわらず卒業に必要な単位に算入できない。
- 本表は、2024年度入学者から適用する。ただし、2023年度以前に入学した者ならびに2024年度以前に第2学年に入学した者および2025年度以前に第3学年に入学した者については、なお従前の例による。

法律学科学期配当表

◆必修科目 ◇選択必修科目 ●履修開始学期 ○履修可能

※各科目がその学期に実際に開講されているかどうかは『シラバス』を確認してください。

部 門	コース			科 目	単位数	学期配当								備 考
	行政法務	企業法務	法 曹			1	2	3	4	5	6	7	8	
入 門	◆	◆	◆	入門演習	2	●	○	○	○	○	○	○	○	クラス指定。
	◆	◇	◆	憲法入門	2	●	○	○	○	○	○	○	○	
	◇	◆	◆	民法入門	2	●	○	○	○	○	○	○	○	秋学期のみ履修可。
	◇	◇	◇	刑法入門	2	●	○	○	○	○	○	○	○	
	◇	◇	◇	国際法入門	2	●	○	○	○	○	○	○	○	
	◇	◇	◇	総合政策入門	2		●	○	○	○	○	○	○	
基 礎 法				社会科学概論	2	●	○	○	○	○	○	○	○	
				法思想史	2			●	○	○	○	○	○	
				法哲学	2				●	○	○	○	○	
				日本法制史	2			●	○	○	○	○	○	
				日本近代法史	2				●	○	○	○	○	
				西洋法制史 a	2			●	○	○	○	○	○	
				西洋法制史 b	2				●	○	○	○	○	
				比較法史	2			●	○	○	○	○	○	
				法心理学 a	2			●	○	○	○	○	○	
				法心理学 b	2				●	○	○	○	○	
外 国 法				英米法	2			●	○	○	○	○	○	
				ドイツ法	2					●	○	○	○	
				フランス法	2					●	○	○	○	
				アジア法 a	2					●	○	○	○	
				アジア法 b	2						●	○	○	
				EU法 a	2					●	○	○	○	
				EU法 b	2						●	○	○	
				外国書講読 I	2			●	○	○	○	○	○	
公 法	◆		◆	憲法・人権	2		●	○	○	○	○	○	○	
				憲法・統治	2			●	○	○	○	○	○	
				憲法・発展	2				●	○	○	○	○	
	◆			行政法 I	2			●	○	○	○	○	○	
	◆			行政法 II	2				●	○	○	○	○	
				行政法 III	2					●	○	○	○	
				比較公法	2			●	○	○	○	○	○	
				租税法 a	2					●	○	○	○	
				租税法 b	2						●	○	○	
				地方自治法 a	2					●	○	○	○	
				地方自治法 b	2						●	○	○	
				教育法 a	2			●	○	○	○	○	○	
				教育法 b	2				●	○	○	○	○	
民 事 法				民法 I	2		●	○	○	○	○	○	○	
				民法 II	2			●	○	○	○	○	○	
				民法 III	2				●	○	○	○	○	
				民法 IV	2			●	○	○	○	○	○	
				民法 V	2				●	○	○	○	○	
		◆	◇	会社法 I	2			●	○	○	○	○	○	
		◆	◇	会社法 II	2				●	○	○	○	○	
				支払決済法	2					●	○	○	○	
				企業法総則・商行為	2					●	○	○	○	
				保険法	2					●	○	○	○	
				国際私法 a	2			●	○	○	○	○	○	
				国際私法 b	2				●	○	○	○	○	
				国際取引法	2					●	○	○	○	
				知的財産権法 I	2			●	○	○	○	○	○	
				知的財産権法 II	2					●	○	○	○	
				知的財産権法 III	2						●	○	○	
刑 事 法			◆	刑法総論 I	2			●	○	○	○	○	○	
			◆	刑法総論 II	2				●	○	○	○	○	
				刑法各論 I	2			●	○	○	○	○	○	
				刑法各論 II	2				●	○	○	○	○	
				刑事政策 a	2					●	○	○	○	
				刑事政策 b	2						●	○	○	
				少年法 a	2					●	○	○	○	
				少年法 b	2						●	○	○	
社 会 法				労働法 a	2			●	○	○	○	○	○	
				労働法 b	2				●	○	○	○	○	
				社会保障法 a	2					●	○	○	○	
				社会保障法 b	2						●	○	○	
				環境法 a	2			●	○	○	○	○	○	
				環境法 b	2				●	○	○	○	○	
				経済法	2					●	○	○	○	
				消費者法	2					●	○	○	○	

部 門	コース			科 目	単位数	学期配当								備 考
	行政法務	企業法務	法 曹			1	2	3	4	5	6	7	8	
手続法				民事訴訟法 a	2			●	○	○	○	○	○	
				民事訴訟法 b	2				●	○	○	○	○	
				民事執行・保全法	2					●	○	○	○	
				倒産法	2					●	○	○	○	
				刑事訴訟法 a	2			●	○	○	○	○	○	
				刑事訴訟法 b	2				●	○	○	○	○	
国際関係				国際法 I	2			●	○	○	○	○	○	
				国際法 II	2				●	○	○	○	○	
				国際法 III	2					●	○	○	○	
				国際人道法	2					●	○	○	○	
				国際環境法 a	2			●	○	○	○	○	○	
				国際環境法 b	2				●	○	○	○	○	
				国際政治学基礎	2			●	○	○	○	○	○	
政治				政治学原論	2			●	○	○	○	○	○	
				日本政治論	2			●	○	○	○	○	○	
				日本政治史	2			●	○	○	○	○	○	
				地方自治論	2					●	○	○	○	
				政治思想史	2					●	○	○	○	
				西洋政治史 a	2					●	○	○	○	
				西洋政治史 b	2						●	○	○	
				比較政治 a	2			●	○	○	○	○	○	
				比較政治 b	2				●	○	○	○	○	
				行政学 a	2			●	○	○	○	○	○	
				行政学 b	2				●	○	○	○	○	
特 講			◆	法律学特講	2					●	○	○	○	テーマが異なれば重複履修可。
				法曹特講	2					●	○	○	○	テーマが異なれば重複履修可。
社会・経済				経済学入門	2	●	○	○	○	○	○	○	○	
				法社会学 a	2			●	○	○	○	○	○	
				法社会学 b	2				●	○	○	○	○	
				会計学 a	2					●	○	○	○	
				会計学 b	2						●	○	○	
歴 史				日本史	2	●	○	○	○	○	○	○	○	
				東洋史	2	●	○	○	○	○	○	○	○	
				西洋史	2	●	○	○	○	○	○	○	○	
総合講座				法政総合講座	2	●	○	○	○	○	○	○	○	テーマが異なれば重複履修可。 テーマによって学期配当が異なる。 卒業要件算入は2科目4単位まで。
演 習	◆	◆	◆	基礎演習	2			●	○	○	○	○	○	担当者の異なる基礎演習を2科目4単位必修。 1学年秋学期と2学年春学期に募集抽選。
				演習 I a	2					●	○	○	○	2学年秋学期に募集抽選。a, bセット履修。
				演習 I b	2						●	○	○	
				演習 II a	2							●	○	
				演習 II b	2								●	
免 許				社会科教育法 I	2			●	○	○	○	○	○	
				社会科教育法 II	2					●	○	○	○	
				社会・地理歴史科教育法 I	2			●	○	○	○	○	○	
				社会・地理歴史科教育法 II	2					●	○	○	○	
				社会・地理歴史科教育法 III	2					●	○	○	○	
				社会・公民科教育法 I	2					●	○	○	○	
				社会・公民科教育法 II	2					●	○	○	○	
全学共通授業科目 (別表 IV)	全学総合科目群 (別表 IV-1)			全学総合講座部門		全学共通授業科目のページを参照。								
				全学共通講義科目部門		全学共通授業科目のページを参照。								
				全学共通実践科目部門		全学共通授業科目のページを参照。								
				スポーツ・レクリエーション部門		全学共通授業科目のページを参照。卒業要件算入4単位まで。								
	外国語科目群 (別表 IV-2)			英語部門		第一外国語はクラス指定。全学共通授業科目のページを参照。								
				外国語部門 (英語以外)		全学共通授業科目のページを参照。								
				日本語部門		外国人学生・帰国学生のみ履修可。								

注意：「免許」部門の科目は、教職課程登録者のみ履修可。
「免許」部門の科目は、卒業単位には含まれない。

法律学科のカリキュラム

目 的

法学部法律学科は、外国語の能力、ならびに、歴史、文化、および、社会に関する深い教養に基礎付けられた法学の専門的知識を習得した、国際的視野に立つ教養人を育成することを目的としています。

コースについて

登 録

2学年3学期から「行政法務コース」と「企業法務コース」および「法曹コース」に分かれます。3学期の履修登録時にコース決定を行います。

各コースにより必修・選択必修科目が異なりますので、「法律学科授業科目表」を参照してください。各自の学問的関心と将来の進路を十分考慮に入れて決定してください。

各コースの特徴

「行政法務コース」

公法関係科目が中心のカリキュラム。

国家公務員、地方公務員、教員、マスコミ関係の仕事を志望する学生を対象としています。また、政治の世界で働くことを志す学生に向いています。

「企業法務コース」

私法関係科目が中心のカリキュラム。

法的な素養と知識を生かして銀行、商社、その他一般企業で活躍できる人材をひろく養成することを目指しています。

「法曹コース」

基本六法科目が中心のカリキュラム。

法科大学院に進学することを志望する学生を対象としています。将来、弁護士・裁判官・検察官などの法律専門職に就きたい学生のためのコースです。

I 学年（1・2学期）

履修方法

卒業に必要な単位数は、すべて、「法律学科授業科目表」（P.152～153）にしたがって計算されます。

『授業時間割表』にしたがって、全学総合科目群・外国語科目群・専門科目を履修してください。1・2学期で修得する必修科目の中には、履修すべきクラスが指定されている科目があります。クラス指定されている科目以外は、各自で選択し履修登録のうえ、履修してください。

履修の際には『シラバス』を参照してください。

登録上限

登録できる単位数は、1学期に**18**単位、2学期に**18**単位までです。

なお、「免許」部門の科目および他学部科目、教職・司書教諭・司書課程科目の単位は、この中に含まれません。

履修科目

全学総合科目群

2学年終了までに「全学総合講座」1科目2単位の取得が必要です。また、卒業には全学総合科目群の科目から「全学総合講座」の2科目4単位を含む24単位が必要です。

「法律学科授業科目表」（P.152～153）にしたがって所定の単位を履修してください。

外国語科目群
第一外国語

第一外国語「English」は、クラス指定があります。1学期に2科目2単位、2学期に2科目2単位、計4科目4単位を履修します。

受講クラスについては、履修登録前にPorTaⅡ等で発表します。

詳細は、『授業時間割表』および教務課法学部係で確認してください。

また、既習者に限り、「ドイツ語」「フランス語」を第一外国語に指定できます。受講クラスについては、教務課法学部係で確認してください。

第二外国語

1学期に2科目2単位、2学期に2科目2単位、計4科目4単位を履修します。第二外国語は、選択必修科目ですので、原則としてドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語のいずれかを履修してください。

第一外国語が「ドイツ語」「フランス語」の場合は第二外国語は「English」となります。

なお、第二外国語を履修しない場合は、卒業までに「法律学科授業科目表」の科目の中から不足単位分を履修してください。第二外国語の単位に振り替えることができます。

専門科目

「法律学科学期配当表」(P.154～155)にしたがって履修してください。

「入門演習」

1学期の必修科目で、クラス指定です。ここでは、15人前後のクラスでゼミナール形式の授業が行われ、新入生が大学生としての考え方、調査方法、専門書の読み方、論文の書き方、意見の発表方法などを学びます。これによって、今後の勉学にスムーズに入れるようにしています。

入門科目

「憲法入門」「民法入門」「刑法入門」「国際法入門」「総合政策入門」の5科目のことです。これらの科目は、法律・政治を学ぶうえで重要な基本科目で、体系的に法律学・政治学を学ぶための導入を目的にしています。

「憲法入門」「民法入門」「刑法入門」「国際法入門」は1学期以降、「総合政策入門」は2学期以降に履修することができます。

「免許」部門の科目

教職に関連する科目です。履修するためには教職課程登録が必要です。

「免許」部門の科目は卒業単位には含まれません。また、履修登録単位数の上限に含まれません。

「基礎演習」の募集手続き

「基礎演習」は2学年の3学期と4学期で履修する必修科目です。

3学期の担当教員については1学年2学期の募集手続きで決定します。

詳細は『授業時間割表』およびPorTaⅡ等で確認してください。

4学期の担当教員については、2学年3学期の募集手続きであらためて決定します。

2学年への進級

1学年から2学年へは、修得した単位数に関係なく進級できます(休学を除く)。しかし、修得単位数が少ないと4年間(8学期)で卒業できなくなる場合もありますので、履修登録した科目の単位は、1学年から確実に修得するよう心がけてください。

休学した場合は、同一学期にとどまります。

2学年（3・4学期）

登録上限

登録できる単位数は、3学期に**22**単位、4学期に**22**単位までです。
なお、「免許」部門の科目および他学部科目、教職・司書教諭・司書課程科目の単位は、この中に含まれません。

コース

3学期からは、各自が登録する3つのコースに分かれて履修します。

履修科目

2学年で履修できる科目は、「法律学科学期配当表」、「授業時間割表」および『シラバス』を参照してください。

全学総合科目群

2学年終了までに「全学総合講座」1科目2単位の取得が必要です。また、卒業には全学総合科目群の科目から「全学総合講座」2科目4単位を含む24単位が必要です。
「法律学科授業科目表」（P.152～153）にしたがって所定の単位を履修してください。

外国語科目群

第一外国語

第一外国語「English」は、クラス指定があります。3学期に2科目2単位、4学期に2科目2単位、計4科目4単位を履修します。

受講クラスについては、履修登録前にPorTaⅡ等で発表します。

1学年で「ドイツ語」「フランス語」を第一外国語に指定した場合は、引き続き2学年でも履修してください。受講クラスについては、教務課法学部係で確認してください。

第二外国語

3学期に2科目2単位、4学期に2科目2単位、計4科目4単位を履修してください。

なお、**第二外国語を履修しない場合は、卒業までに「法律学科授業科目表」の科目の中から不足単位分を履修してください。第二外国語の単位に振り替えることができます。**

第一外国語が「ドイツ語」「フランス語」の場合は、第二外国語は「English」になります。

専門科目

専門科目は、コースによって必修、選択必修、選択科目の単位数が決められています。自身が所属するコースのカリキュラムにしたがって履修してください。各コースごとの必要単位は、「法律学科授業科目表」に明記されています。3・4学期で履修できる科目は、「法律学科学期配当表」（P.154～155）にしたがって履修してください。科目名のa・bを除いた部分の名称が同一である科目（たとえば「西洋法制史a・b」）は、原則としてa・bの順番にセットで履修してください。

入門科目

「憲法入門」「民法入門」「刑法入門」「国際法入門」「総合政策入門」の5科目のことです。

これらの科目は、法律・政治を学ぶうえで重要な基本科目で、体系的に法律学・政治学を学ぶための導入を目的としています。

「基礎演習」

3学期、4学期で履修する必修科目です。

各学期で異なる担当教員の「基礎演習」を履修します。同じ教員の「基礎演習」を2科目履修することはできません。

3学期に履修する「基礎演習」は、1学年2学期の募集手続きで履修の許可を得た教員の「基礎演習」を履修してください。

4学期に履修する「基礎演習」は3学期に募集手続きが実施されます。詳細は『授業時間割表』およびPorTaⅡ等で確認してください。

科目の再履修

1学年の必修科目、選択必修科目で、修得できなかった科目は、優先的に履修してください。

履修する際には、『授業時間割表』の「法学部共通注意事項」にしたがって履修してください。

「演習」の登録について

「演習」（専門演習）は、選択科目です。

「演習Ⅰa・b」の募集手続きは、4学期に実施されます。詳細はPorTaⅡ等でお知らせします。

「演習」は「演習Ⅰa・b」（5・6学期）と「演習Ⅱa・b」（7・8学期）からなりますが、授業は原則として「演習Ⅰa・b」と「演習Ⅱa・b」の合併形式で行われます。また、授業は、国際関係法学科および総合政策学科との合併で行われます。

「演習Ⅰa・b」は、「基礎演習」の単位を2単位以上修得していない場合は履修できません。

3学年への進級

2学年から3学年への進級は、下記の要件を満たす必要があります。

以下の科目の単位の修得

- ・ 第一外国語4単位
- ・ 「全学総合講座」から1科目2単位
- ・ 「入門演習」2単位
- ・ 「憲法入門」「民法入門」「刑法入門」「国際法入門」「総合政策入門」もしくは「基礎演習」（2単位が上限）の中から2科目4単位
- ・ 1学期から4学期までの修得単位数の合計が、上記の科目の単位数を含む36単位以上

3学年（5・6学期）

登録上限

登録できる単位数は、5学期に**22**単位、6学期に**22**単位までです。

なお、「免許」部門の科目および他学部科目、教職・司書教諭・司書課程科目の単位は、この中に含まれません。

履修科目

3学年で履修できる科目は、「法律学科学期配当表」（P.154～155）、『授業時間割表』および『シラバス』を参照してください。科目名のa・bを除いた部分の名称が同一である科目（たとえば「西洋法制史a・b」）は、原則としてa・bの順番にセットで履修してください。

「演習」

4学期の募集手続きで履修の許可を得た教員の演習を履修してください。

許可を得ていても、2学年終了時までに「基礎演習」の単位を2単位以上修得していない場合は、「演習」は登録できません。「演習」を履修しない場合は、それに代わる専門科目を履修してください。

科目の再履修

1・2学年の必修・選択必修科目で修得できなかった科目は、優先的に履修してください。履修する際には、『授業時間割表』の「法学部共通注意事項」にしたがって履修してください。

4学年への進級

3学年から4学年へは、すでに修得した単位数に関係なく進級できます（休学を除く）。しかし、各学期で登録できる単位数に上限があるため、原則として**6学期修了時までに80単位**を修得できない場合は、4年間で卒業することができません。ただし、「大学以外の教育施設等における学修（P.22）」、留学による単位の認定を受けた場合はこの限りではありません。履修登録した科目の単位は、確実に修得するよう心がけてください。

4学年（7・8学期）

登録上限

登録できる単位数は、7学期に**24**単位、8学期に**24**単位までです。

なお、「免許」部門の科目および他学部科目、教職・司書教諭・司書課程科目の単位は、この中に含まれません。

「演習」

「演習Ⅰa・b」「演習Ⅱa・b」は、同一指導教員のもとで履修することが原則です。事情により、特に「演習Ⅱa・b」の指導教員を変更したい場合は、春学期のオリエンテーション期間までに教務課法学部係に相談してください。年度途中での変更は認めません。

科目の再履修

必修・選択必修科目で修得できなかった科目は、優先的に履修してください。

履修するには、『授業時間割表』の「法学部共通注意事項」にしたがって履修してください。

卒業に関して

卒業に必要な単位数は**128**単位です。ただし、専門科目はコース別に必修科目等が異なるので、登録のときに注意し、卒業要件を満たしているかよく確認してください。

卒業再試験

卒業に必要な単位のうち、4科目以内の単位不足の場合に受けられる試験です。

7・8学期に評価が「F」の科目に限り受験が認められ、科目担当教員が許可しない場合（評価が「FG」の科目）は、受験できません。

ただし過去に卒業判定を受けたことがある学生（留年者）は、最終学期の履修登録科目のうち「F」であった科目のみが対象となります。必ずP.12の**卒業再試験**の項目を参照してください。

免許及び資格課程再試験

卒業要件を完全に満たした学生で、免許及び資格取得に必要な要件のうち2科目以内の単位が不足している者を対象に行われます。卒業発表と同時に、免許及び資格課程合格者、再試験対象者を発表します。